

残された資料からたどる飯盛城跡の姿

大東市 産業・文化部生涯学習課
李 聖子

はじめに

大東市・四條畷市は平成28年度から3か年にわたり共同で飯盛城跡の国史跡指定を目指して総合調査を実施しました。令和3年には飯盛城跡の歴史的価値が認められ国史跡に指定されました。史跡指定後も飯盛城跡の保存・活用を見据えて継続して調査を実施しています。飯盛城跡は貴重な歴史遺産ですが、自然環境等を楽しむ場としても親しまれています。そのため、飯盛山では古くから観光のための整備などが行われており、その過程で残された記録があります。

今回の報告会では、最新の調査成果と併せて、撮影された写真や図面等の残された資料から「ちょっと昔」の飯盛城跡の姿をたどります。

1. 石垣測量調査

1) 石垣69（写真1～写真4）

位 置：I郭（高櫓郭）とII郭（高櫓郭）の東側帶曲輪斜面

規模・構造：総延長約44.2m・最大高約3.1m、使用された石材約1800石

構築当時の天端が現存。出隅（隅角部）を有し、石垣の背面には栗石が充填されている

特 徴：石垣を高く積むため、石垣69の上に平坦面を設け、2段目の石垣1を積んだ段築状石垣。石垣69上の平坦面は帶曲輪として機能した。
上段の石垣1と比較すると小ぶりな石材を使用。

2) 石垣6・7（写真5～写真8）

位 置：III郭の曲輪15西斜面

規模・構造：長さ約22m・最大高約2.5m、使用された石材約400石

構築当時の天端と根石が現存し北側の一部が段築状となっている。裏込めは確認していない。

特 徴：比較的大きな石材が用いられ、間詰石は少ない。

2. 資料からたどる城跡の姿

1) 残された資料

- ・近世資料・・・近世地誌、絵図
- ・飯盛山の開発に関する資料・・・パンフレット、絵はがき、写真
- ・調査で得られた資料・・・調査記録、写真、縄張り図、測量図面

2) 飯盛城跡の近代開発略史

年代	事柄
大正 4 年（1915）頃	大阪府立四條畷中学校（現・大阪府立四條畷高等学校）による四條畷神社～IV郭（三本松丸）登山道整備
大正 7 年（1918）	四條畷中学校 2 代校長 青木氏の登山 300 回達成を記念し「登山三百回記念碑」を V 郭（御体塚郭）に建立
大正 13 年（1924）	東宮（後の昭和天皇）御成婚記念事業として四條畷中学校 3 代校長 牧田氏により「飯盛山史蹟碑」が VII 郭に建立される * 碑文は郷土史家・平尾兵吾氏によるもの
昭和 5 年（1930）	東大阪電気鉄道株式会社が飯盛山上遊園地建設
昭和 6 年～8 年（1931～1933）	大阪府による四條畷神社からの登山道整備
昭和 12 年（1937）	北河内郡小楠公会により楠木正行銅像が I 郭（高櫓郭・山頂）に建立
昭和 14 年（1939）	北河内郡の警防団員の奉仕により国旗掲揚台が I 郭（高櫓郭）の小楠公銅像北側に建設される
昭和 19 年（1944）	戦時下の金属回収のため小楠公銅像が供出される
昭和 30 年（1955）	日蓮宗寺院妙法寺が楠公寺と改称し X 郭（馬場）に移転
昭和 33 年（1958）	大東市が野崎観音・飯盛山苑地整備計画に着手し展望台を II 郭（本郭）に建設
昭和 38 年（1963）	国定公園整備事業として阪奈道路から分岐し、中の池と桜池を経由する飯盛山までのハイキング道を整備
昭和 41 年（1966）	国定公園整備事業の第 2 期工事として野崎観音から飯盛山までのハイキング道（七曲りコース）を整備
昭和 46 年（1971）	NHK 飯盛山 FM 送信所が VIII 郭（千畳敷郭）に建設される
昭和 47 年（1972）	昭和 8 年に整備されたハイキング道が昭和 47 年 7 月豪雨（大東水害の要因となった豪雨）により崩れ廃道となる
同年	地元住民により楠正行銅像が再建される
昭和 53 年（1978）	四條畷市により四條畷神社から山麓をたどり御机神社から飯盛山までのハイキング道が整備される
平成元年（1989）	FM802 の送信所が NHK 飯盛山 FM 送信所の西側に建設される
平成 13 年～15 年（2001～2003）	北生駒地域ネットワーク整備のため野崎観音から飯盛山までのハイキング道（七曲りコース）の整備を実施
令和 2 年（2020）	NHK による NHK 飯盛山 FM 送信所のメンテナンス工事

3) 残された資料からわかること（写真 13-1～15-2、資料 1～3）

- ・飯盛城跡の姿→現在では、所在不明の遺構や開発前の城跡の記録が多く残されており、遺構の詳細を知ることができます。
- ・自然環境の変化→残された写真から植生の変化を知ることができます。

おわりに

近・現代に残された資料からは、断片的ながら飯盛城跡の変遷をうかがうことができます。これらの資料は今後、飯盛城跡の保存や活用のための整備を検討するうえで貴重な資料といえます。

参考文献

大東市教育委員会・四條畷市教育委員会 2020 年『飯盛城跡総合調査報告書』



写真1 石垣69全景



写真2 石垣69 隅角部(出角)



写真3 石垣69 石垣天端の状況



写真4 石垣1(左上)と石垣69(右下)



写真5 石垣6・7



写真6 石垣6・7上空から



写真7 石垣6・7 一段目隅角部



写真8 西斜面下の曲輪から石垣6・7を望む



写真9-1 Ⅲ郭からⅡ郭を望む



写真9-2 飯盛山古写真（大阪府教育委員会提供）



写真10-1 石垣69



写真10-2 飯盛山古写真（大阪府教育委員会提供）



写真11-1 石垣94付近



写真11-2 飯盛山古写真（大阪府教育委員会提供）



写真12-1 虎口



写真12-2 飯盛山古写真（大阪府教育委員会提供）



写真 13-1 西山麓より飯盛山を望む、昭和5年頃（大阪府教育委員会提供）



写真 13-2 四條畷学園本館屋上で撮影、昭和10年頃か（四條畷学園提供）



写真 13-3 四條畷学園で撮影、昭和10年頃か（四條畷学園提供）



写真 13-4 四條畷学園短期大学清風学舎屋上から撮影、令和4年



写真 14-1 南西より山頂（I郭）を望む、昭和5年頃（大阪府教育委員会提供）



写真 14-2 四條畷学園短期大学清風学舎屋上から撮影、令和4年



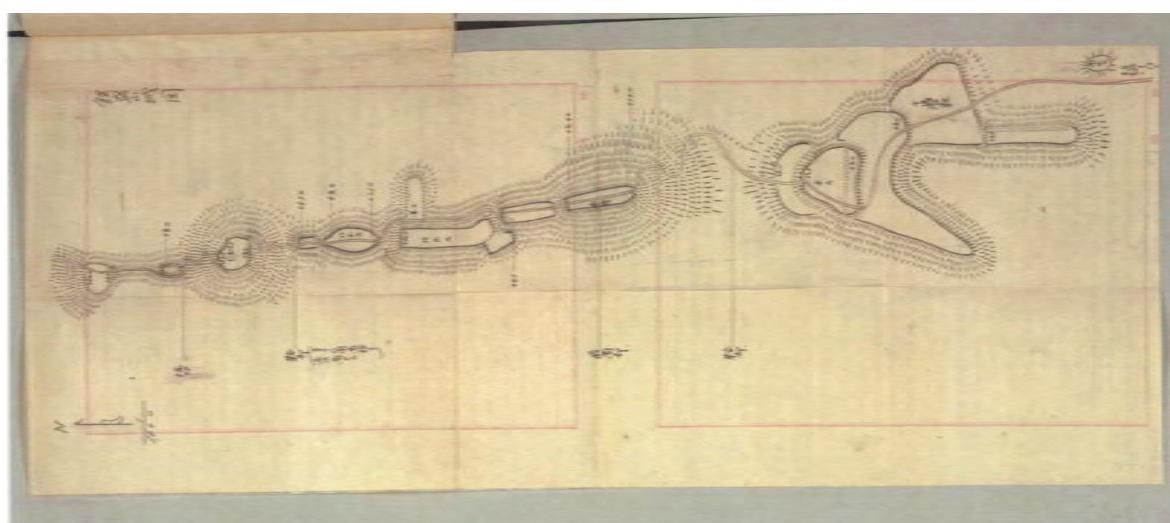
写真 15-1 III郭からV郭を望む、昭和5年頃（大阪府教育委員会提供）



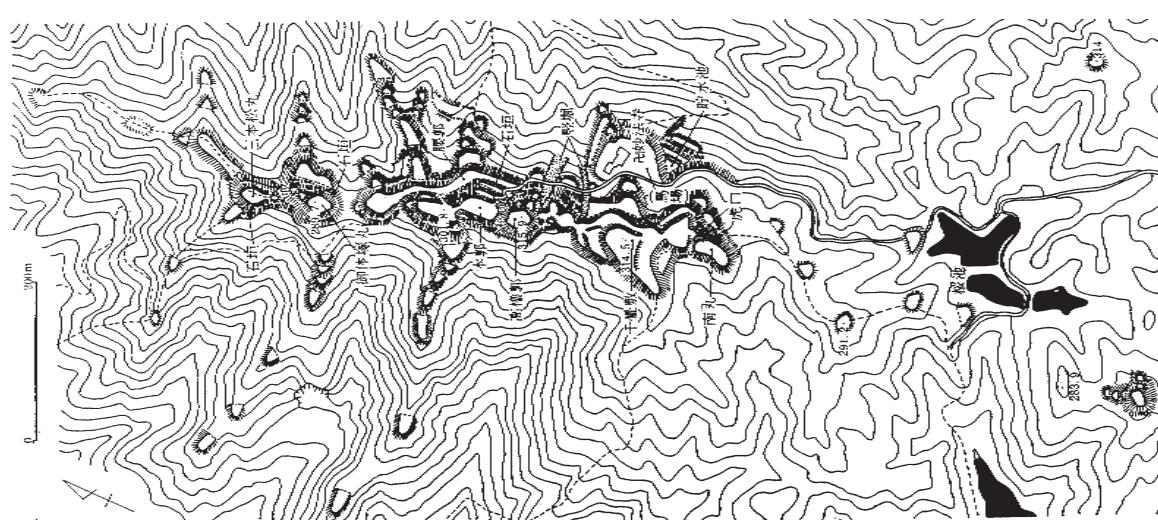
写真 15-2 III郭上空からIV郭・V郭を望む、平成30年頃



資料1 河内国飯盛旧城絵図（「美濃加納永井家史料」東京大学史料編纂所所蔵、『飯盛城跡総合調査報告書』より）



資料2 飯盛山城図（陸軍筑城本部編『日本城郭資料』第24冊所収 国立国会図書館所蔵）



資料3 飯盛城跡縄張り図（1981 中井均作図）